



発行日：平成31年1月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第49回川部会WGを開催しました！

12月18日（火）に第49回川部会WGが開催されました。矢作川環境技術研究会 野田さんのご協力を得て、「家下川 ～ 歩いて観る、診る、体感するエコツアー～」を開催しました。また、視察後は9年間のとりまとめ作業として、これまでの取組に対して意見交換を行いました。



日時：平成30年12月18日（火）14:00～17:30

現地視察：家下川（末野原～上郷）

会議場所：豊田市崇化館交流館

参加者：19名（事務局含む）

### ◆主な活動内容

#### 1.家下川エコツアー



■家下川の川岸を歩き、川の自然、風景を感じながら、川の魅力を知ることができました。また、三面張りのコンクリート護岸、ゴミの不法投棄など生活圏内を流れる河川としての問題点も見えました。



#### ※参加者の感想

- 良くも悪くも愛知県の河川改修の典型形式を見ることができ、川と氾濫域、地形的、歴史的なつながりが立体的に理解できた。
- これまで見たことのない家下川の上流区間を見ることができて良かった。
- 今回のような少し歩くことを中心とした体験型の活動を多くした方が良かった。
- 川の状態を見ながら、色々な生物を見ることができてよかった。
- 河川内のごみが多かったことが残念であった。
- 予想以上に水量、水質があったことは良かったと思うが、三面張りの水路は生物にとって良くない環境である。

## 2.9 年間のまとめに関する意見交換



●出席者のみなさまに9年間の懇談会活動をふりかえって、できたこと、もう少しでできたこと、できなかったことを付箋に記載して、それぞれの思いを発表していただきました。

### A：できたこと

- 矢作川本川の評価、ここは良くなってきた、ここは良くなってきたという視点が必要。(光岡)
- 川部会に気軽に参加できるようになってよかった。特に後半は山部会にも参加できるようになって、流域全体の視点で川の問題をとらえることができた。(野田)
- 色々な場所を見学し、勉強することができたのがよかったこと。(高橋)
- 矢作川流域がどのような特徴をもっているか勉強しており、水の流れと物質の流れと視点で流域全体を対象とした水質調査を実施することができた。(吉川)
- 河床変動のシミュレーションを自分でできるようになった。(山本)
- 愛知県と豊田市に多自然型川づくりを導入して約30年経過した。その間、色々な情報の蓄積がある。その成果の一つについて、山部会で取り組んでいる事例集で紹介することができた。(近藤)
- 9年間の途中、漁協関係者の方が来られなくなった時期があったが、ここ数年は組合長が参加してもらえるようになるなど、漁協が協力的な関係で会を運営することができた。(内田)

### B：もう少しでできたこと

- 矢作川の下流の方で流量が減少することについて、関係団体と話し合いをしたかった。(吉川)
- 市民団体や個人の参加が少なくなってきた。規約が問題ではないか。矢作川流域内に住んでいる、働いている人という条件がある。幅を広げる必要があると思う。(山本)
- 愛知県、中部電力がもう少し議論の場に加わってほしかった。(内田)
- 竹の再利用が話題となっている。愛護会が整備活動している。何か活かせるもの、整備だけでなく発展的に何かあればよいと考えている。(近藤)
- 観光協会とタイアップして矢作川のことをもっと知ってもらい取り組みを実施してほしい。(吉川)

### C：できなかったこと

- 矢作川には色々な支川が入っているが、その評価が一切できていない。評価の必要がある。地先の関係、色々な団体の活動の紹介があったが、詳しくは見ることができていない。その活動の内容の評価もしていきたい。(光岡)
- 阿摺ダム下流で矢作川研究所がアユの環境改善実験を2年間行ってきて、何か改善策が見つかるかと期待していたが、結果が出てこなかった。(加藤)
- 山川海が各々で情報を集めているので、これらを集約するデータベースの構築ができていない。(吉川)
- 色々な行政がある中で、河川管理の見える化をしたかったができなかった。(山本)



## 今後の流域圏懇談会の予定



### ■平成30年度 川のまとめの会

※詳細日時はMLにて決定します。

日時：平成31年1月25日 午後

内容：1) これまでの活動成果と課題について 2) 来年度の活動計画について



### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 神本 調査係長 服部  
指導員 宇野



TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。

